

2月3日（金）

田布施町郷土館出前講座（3年生）

田布施町郷土館の 高橋 茂樹 館長をゲストティーチャーにお迎えして、昔の暮らしについて教えていただきました。本来なら、実際に田布施町郷土館に行き、施設を見学するところですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、高橋館長に来校していただき、出前講座として実施しました。



はじめに、田布施町郷土館について説明していただきました。岸信介、佐藤栄作兄弟宰相を中心に、田布施にゆかりのある人物の遺品や、古墳からの出土品などが展示されているそうです。

田布施町民として、郷土に誇りをもってほしいというお話が印象的でした。

つぎに、高橋館長が子どもの頃の田布施町の暮らしについて教えていただきました。

- 毎日野外で遊んでいて、山登りやチャンバラごっこ、魚釣りなどをしていた。
- プールがないので田布施川で泳いでいた
- 田布施には肉を売っていなかったので、ニワトリを飼っていた など



最後に、田布施町郷土館に展示している昔の道具を紹介していただきました。アイロンやミシン、電話など、今の道具とは使い方が違うことに驚いている様子でした。「となりのトトロで見た」という声も聞かれました。

今回の学習を通して、昔の道具や地域の人々の生活の変化を感じることができました。